

人を育む・未来をつくる学校図書館

東日本大震災を経て、私たちは自分の生き方を見つめなおし、子どもたちにどんな未来を手渡したいのかを、より真剣に考えるようになりました。

学校図書館は、自分で考えて行動するために必要な情報を集め、判断する力をつけていく場であり、先人の知恵や知識の宝庫でもあります。新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質を育てる場として、ますます重要な役割を担うことになるでしょう。この大会では、未来を担う「人」を育てる視点から学校図書館の役割を改めて考えていきたいと思えます。

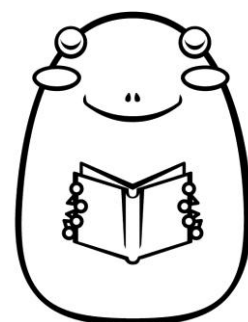
学校図書館問題研究会は、司書、教師、市民など、学校図書館に関わる人々が集う研究団体です。子どもたちの感動する心と考える言葉を育むべく実践を重ね、交流し、研究を続けています。

人と人との絆の大切さが再確認された今、私たちも自分たちの未来を考え、繋がる場にしましょう。数多くの方のご参加をお待ちしております。

日時： 2012年8月2日（木）～4日（土）

会場： ^{ほんがいまたみ}磐梯熱海温泉 ^{はなのゆ}ホテル華の湯
〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海 5-8-60
TEL 024-984-2222

主催： 学校図書館問題研究会 (<http://homepage3.nifty.com/gakutoken/>)
福島大会ホームページ (<http://gakutoken.kiramori.net/nc/>)



【ヨミガエル】

後援： 福島県教育委員会・郡山市教育委員会・福島県私立中学高等学校協会・福島県公共図書館協会
福島県学校図書館協議会・社団法人日本図書館協会・社団法人読書推進運動協議会

申込期限： 6月30日（土）必着 *参加費・申込方法などの詳細は裏面参照

プログラム

8/2 (木)	12:00	13:00	14:00	17:00	19:00	21:00
	受付	開会行事 総会	講演	夕食	ナイター(A~F)	
3 (金)	9:00	12:00	13:00	17:00	18:00	20:00
	実践報告 I・II	昼食	分科会(1~8)		全体交流会	
4 (土)	9:00	11:30	11:50			
	全体会・総会	閉会 行事				

講演

^{かんの}菅野 ^{のりお}典雄さん (福島県飯館村村長)

「未来に生かす『までの力』」

菅野典雄村長は、抜群の発想力と実行力で、村民を元気にする様々な事業を実現してこられました。その中には、日本でも珍しい村営書店「ほんの森いたて」や、読まなくなった絵本を全国から募る「絵本リレー」活動など、読書に関する事業も含まれています。読書をすることが村民の生活を潤し、村の発展に繋がるという信念をもって事業を進められ、大きな成果を上げてきました。

東北の方言に、「手間ひま惜しまず、丁寧に心をこめて、つつましく」を意味する「までのい」という言葉があります。「までのい」なスローライフを実践してきた飯館村は、今、高い放射線量のため全村避難という厳しい状況にあります。しかし、菅野村長は村民の生活や絆を守り、必ず村に戻るという強い意思をもって飯館村の未来を拓くべく復興の陣頭指揮を執っておられます。

今の福島県が置かれている状況、そして子どもたちをいかに育てていくべきか、お話を伺います。

講演をインターネット生中継します。詳細は大会時期が近づいたら大会 HP にて案内します。

実践報告 I

“ふだん使い”の学校図書館

内川 育子さん(大阪府豊中市立庄内小学校 司書)

子どもたちや教職員に自然に使ってもらえて、いつも当たり前そこに。学校生活のあらゆる基盤として機能することが、豊中市のめざす「ふだん使いの学校図書館」です。

庄内小学校では、「本はじわじわ効いてくる!」をキャッチフレーズに、読書活動を支援。また、子どもたちの日々の疑問にしっかりと向き合う中で、学校図書館が疑問を解決する場であり、そのための力をつける場であることを実感できるように、利用教育や授業支援にも力を入れています。

いつでも、役に立つ図書館でありたい! 公共図書館との強い連携を背景に、小・中学校59校すべてに学校司書が配置されている大阪府豊中市での実践を報告します。

実践報告 II

つなげる・広げる・関わり合う 学校図書館

漆谷 成子さん(島根県立松江南高等学校 学校司書専門員)

いま、全国から注目されている島根県の学校図書館。本の部屋という場でしかなかった「図書室」から、学校図書館法の目的・定義にあるような「学校図書館」へ少しずつ姿を変えようとしています。学校図書館をよく知らない人たちに「学校図書館は便利だ」「子どもたちにとって大切だ」と思ってもらうためにはどうすればよいか、試行錯誤を重ねています。学校図書館を支えてもらうためにいろいろな人と一緒にやってきたこと、自校図書館を学校のインフラとして使い倒してもらうためにやってきたこと、そして子どもたちの成長によって変わってきたことについて報告します。

ライター

A: 空想司書読本(長野)

報告「マンガに見る学校図書館員のイメージ」

山口真也さん(沖縄国際大学 准教授)

寸劇「司書らしい司書の作り方」

学校司書は世間から、どう見られているのでしょうか。堅い、暗い、メガネ?でも最近イメージに変化が……。 「司書像」をみんなで楽しく語り合みましょう。

B: 挑戦! 「ビブリオバトル」(兵庫)

ビブリオバトルとは、発表者がこれぞと思う本を紹介した後、どの本が一番読みたくなったかを参加者が投票する「知的書評合戦」です。本を読んでどう思ったか、どう感じたか、聞き手をうならせる話芸や本の魅力を伝える情熱を競います。挑戦してみませんか? みんなで楽しく本を紹介し合ひましょう! 発表者は「学図研ニュース」6月号で募集します。

C: 読書会をしよう!(岡山)

読書会を学校でしていますか。まずは読書会を体験してみませんか。一冊の本をいろいろな角度から読み、感想を共有することで、読みが深まります。『舟を編む』(三浦しをん/光文社)を読んでください。熱く語り合ひましょう。

【25名予定】

D: ちょこっと連携!(熊本)

綿密に計画された授業との連携の他にも、日々の小さなコツコツとした授業や校務分掌、学校行事との連携があると思います。時には依頼されていなくても自発的に行うことも。熊本支部で毎年作成している「勝手に連携! レポート」の報告とともに、参加者それぞれの実践を持ち寄り、連携のコツについて一緒に探りましょう。

E: 鹿児島島の状況あれこれ(鹿児島)

私たちは'99年以来12年、自分たちが直面する課題を中心に年3回の学習会を続けてきました。ディスプレイ・図書館改修・統廃合・引継ぎなどです。また、鹿児島も抱える「人」の問題。今回は、県立学校の司書配置を中心にご報告します。鹿児島島の今と、学図研鹿児島支部について語り合う場にできたら……。鹿児島島の初ライターへ、ぜひお越しくください。お待ちしております。

F: お話の部屋(福島)

会津の代表的な語り部である五十嵐七重さん(こどものとも2011年12月号『おどしのきやく』など絵本の再話も多数)の温かでリズムカルなく五十嵐七重・民話の世界>と、ソプラノ歌手玉川あやこさんとストーリーテラー高橋京子さんによる<歌と語りのコラボレーション>を楽しむひと時に、ぜひご参加ください。



8月3日の全体交流会では、朗読サークル アグリーダックス(会津若松市)による朗読劇のミニ公演を行います。生演奏による朗読の世界をご堪能ください。また、全体交流会後に参加者が自由に語り合うざっくばらんな交流タイムを設けます。会員外の方も、ぜひご参加ください。

分科会

1 楽しもう！ 利用教育（兵庫）

＜報告＞藤井君代さん（豊中市立東丘小学校 司書）
山戸眞理子さん（豊中市立第八中学校 司書）
飯田寿美さん

（小林聖心女子学院中学・高校 司書教諭）

子どもたちが読書に親しみ、生涯にわたって図書館を利用し、情報を扱う力を身につけられるように、学校図書館でどんなことができるのでしょうか。体系的な利用教育と連携を模索する公立の小・中学校と、中高一貫の私立校からレポートします。目指すは、効果的で、かつ受け手の子どもも、仕掛ける大人も楽しめる利用教育です！ 実践報告者の内川育子さんも交えて、みんなで語り合しましょう。

2 学校図書館は教育のインフラ！ 学びに活かす そのノウハウ（東京）

＜講師＞堀川照代さん（青山学院女子短期大学 教授）
＜報告＞東京支部から

学校図書館は教育のインフラだと言われていきます。しかし、学校図書館が授業で活用されるためには、すべての学校図書館が最低ラインとして満たさなければならない条件があるはずで、前半は、堀川照代先生を講師に迎え、機能する学校図書館のあるべき姿についてお話しいただきます。後半は公立小学校・中学校・高校での課題を浮き彫りにしながら、参加者全員で“使える学校図書館”にするため、今、何ができるかを考える分科会です。

3 貸出履歴活用サービスと 図書館の自由（長野）

＜報告＞米田渉さん（成田市立図書館 司書） ほか
自分の貸出履歴参照やリコメンド機能といった履歴活用サービスが公共図書館で導入されてきています。学校図書館では教育的利用をよしとする雰囲気の中でプライバシーへの配慮のないまま導入されていく心配もあります。そもそも学校図書館としてこうしたサービスをどう考えるか、貸出五条件との関係はどうか、プライバシーの問題をクリアすれば活用するのか。履歴活用サービスの現状や方法を知り、これらの課題を論議します。

4 学校図書館行事を考える（岡山）

＜報告＞兼崎弘子さん（岡山市立中山小学校 司書）
学校図書館でいろいろに行われる行事。でも、準備や運営のあわただしさに紛れて、そのねらいや効果をじっくり考えてみることは少ないのでは？ 学校図書館で行う行事の意義や目的を確認し、自校の活動を検証しようという分科会です。今後のレベルアップを目指して、一緒に考えましょう！

5 探究型学習は やって見なくちゃ 支援できない！（神奈川）

＜講師＞天野由貴さん（相山女学園中高図書館 司書）
天野由貴さんをお招きして、まずは学校図書館が牽引する探究学習の実践を通して見えてきたことについて問題提起をしていただきます。その後、『問いをつくるスパイラル』（日本図書館協会）を使って「問いをつくる」ことを体験するワークショップを行います。「探究学習とは何か」「どうすれば生徒の探究的な学びを育むことができるのか」「学校図書館は何ができるのか」を討議し、探究学習の実践的な「支援力」をつけるヒント満載の分科会を目指します！【30名程度】

6 読書をより豊かに 「リテラチャー・サークル」（大阪）

＜講師＞足立幸子さん（新潟大学 准教授）
「リテラチャー・サークル」は読書指導法のひとつです。仲間とともに「役割」を決めて同じ本を読み話し合うことで、批判的に読んだり、深く考えたりすることができる仕組みになっています。「役割」を決めることで主体的に読むことができ、また人と読むことで新たな気付きや人に思いを伝えるなど楽しみながらの読書効果が期待できます。百聞は一見に如かず。ワークショップを行います。ぜひ体験してください。【40名程度】

7 「職員問題を考えるプロジェクトチーム」と 学校図書館職員像を考える（人プロ）

パンフレットで示した「学びが広がる学校図書館」を支える「職員像」について話し合います。具体的には「学校図書館にこんな“人”を」をさらに発展させる形で、「職員像」をつめていきたいと考えています。参加者は、第9回研究集会記録（「学図研ニュース」5月号に同封）をご持参ください。

8 被災地に、本を読む環境を（福島）

＜報告＞横山寿美代さん
（saveMLAK/ 調布市立北ノ台小学校 司書）
菅野佳子さん（富岡町職員）
遠藤豊さん（福島県立図書館 司書）
草野かほるさん（大熊町立熊町小学校 学校司書）
東日本大震災では、学校図書館や公共図書館が大きな被害を受けました。また、長期避難によって子どもたちは本に触れる事ができない環境を余儀なくされました。そのような中、被災地の外から物的・人的支援を行った団体、現地の子どもの読書にかかわる方たちや学校司書はどのように子どもが本に触れることができる場を取り戻していったのでしょうか。実際に活動した方々からの報告を受け、子どもの本に関する支援活動について考えます。

会場アクセス

磐梯熱海温泉 ホテル華の湯 <http://www.hotelhananoyu.jp/>をご参照ください。

- JR郡山駅から磐越西線（会津行き）に乗り、磐梯熱海駅で下車。磐越西線は1時間に1本程度。
 - ・時間：約15分間、運賃：320円
 - ・磐梯熱海駅と「ホテル華の湯」の間はホテルの無料送迎バス（約5分）を運行します。予約不要。
- JR郡山駅からホテルへ名鉄観光が有料バスを運行します。運行時刻は申込書参照。
 - ・時間：約40分間、運賃：500円 ※要予約 参加申し込み時に併せてお申し込みください。

申込方法

同封の申込書に必要事項を記入し、**FAX**でお申し込みください。郵送でも申し込めます。
お申込後、7月12日（木）までに確認書兼請求書を発送します。
到着後、7月25日（水）までに指定口座に振り込んでください。

申込先：名鉄観光サービス株式会社（担当：五十嵐・植松）
〒960-8035 福島県福島市本町5-5 殖産銀行フコク生命ビル2階
TEL：024-521-1341 **FAX：024-521-1343**
(非通知設定を外してください。)

振込先：みずほ銀行 福島支店 預金種目：普通
口座番号：1183918 受取人名：名鉄観光サービス株式会社福島支店

申込締切：2012年6月30日（土）必着！ ※保育は6月20日（水）必着

①参加費	全日程参加	（会 員）	4,500円	一日のみ参加の場合	
		（非会員）	5,000円	（会員・非会員とも）	2,500円
		（学 生）	1,500円	（学 生）	1,000円

②大会報告集 『がくと』 非会員でご希望の方はお申し込みください。1,000円（送料込）
会員の『がくと』代金は年会費に含まれています。

③宿泊 申込書をご参照ください。先着順にて受付いたします。

④キャンセル料 7日前よりキャンセル料が発生します。申込書裏面をご参照ください。

⑤分科会・ナイター 分科会・ナイターは必ず第2希望まで記入してください。
申込多数の場合は、ご希望に添えないことがあります。

⑥締切後の宿泊 締切を過ぎた宿泊申込には応えられない場合があります。
お早めにお申し込みください。

⑦申込用紙 申込用紙が必要な方は、学校図書館問題研究会福島支部のホームページから
ダウンロードできます。（学図研ホームページにリンクがあります）
福島大会ホームページ（<http://gakutoken.kiramori.net/nc/>）

⑧食事 ホテル華の湯宿泊者には1日目夕食、2・3日目朝食、全体交流会代金が含まれています。
宿泊しない方で食事をご希望の方はお申し込みください。詳細は申込書をご参照ください。

⑨保育 対象：原則として3歳以上（応相談）
時間：8月2日(木) 12:30～21:30 8月3日(金) 8:45～17:30 8月4日(土) 8:45～12:00
費用：子ども1人につき 一律4,000円（参加日数に関わらず）
申込：申込書の所定欄にお子様の氏名・年齢を記入し、**6月20日（水）まで**にお申し込みください。
詳細は、申込書をご参照ください。

大会事務局 小熊真奈美（おぐま まなみ） 福島県郡山市立行健第二小学校
FAX. 024-934-1640 E-mail: gakuto_fukushima@yahoo.co.jp
連絡は、E-mail か Fax でお願います。（Fax する場合は非通知設定を外してください。）